

館林の大名と藩政

館林市史

発刊のご案内

榊原康政の入城から廃藩置県まで
約280年に渡る館林藩の動きの集大成！
150点に及ぶ資料と絵巻が
新たな好奇心を呼び起こす！



●第10回配本
資料編3 近世Ⅰ
館林の大名と藩政
B5判 650ページ (カラ-50ページ)
3,000円
別冊付録 『お国替絵巻からみた家臣の道中記』

館林市史購入のご案内

お申し込み方法

販売窓口：下記でご購入できます。

場 所	取り扱い
館林市史編さんセンター(第二資料館) 館林市文化会館	
館林市役所総合案内(1階)	月～金曜日
田山花袋記念文学館 向井千秋記念子ども科学館	休館日(月曜・祝日の翌日)を除く
館林市立図書館 館林市第一資料館	休館日(月曜・祝日の翌日・月末整理日)を除く
群馬県立館林美術館ミュージアムショップ	休館日(月曜・祝日の翌日)を除く ※一部展示替による臨時休館日を除く
館林市内の書店	

◆郵送の場合

遠隔地の方は郵便振替による購入ができます。
電話・FAX・Eメールで下記にお申し込みください。

〒374-0018 群馬県館林市城町2-3(第二資料館内)

館林市史編さんセンター

TEL・FAX 0276-76-7651

E-mail shishihensan@city.tatebayashi.gunma.jp



館林市史 刊行案内

刊行書名	内容
通史編	◇原始・古代・中世 ◇近世 ◇近代・現代
特別編	◆第1巻 館林とツツジ※頒布終了 ◆第2巻 絵図と地図にみる館林※頒布終了 ◆第3巻 館林の自然と生きもの ◆第4巻 館林城と中近世の遺跡 ◆第5巻 館林の民俗世界 ◇建造物 ◇芸術文化
資料編	◆1 原始古代(館林の遺跡と古代史) ◆2 中世(佐貫荘と戦国の館林)※頒布終了 ◆3 近世Ⅰ(館林の大名と藩政)※今回配本 ◆4 近世Ⅱ(館林の城下町と村) ◇5 近現代Ⅰ(産業とくらし) ◆6 近現代Ⅱ(鉱毒事件と戦争の記録)

◆既刊、◇テーマ名は変更あり

『館林市史』は、通史編3巻・特別編7巻・資料編6巻の全16巻を刊行する予定です。館林の自然、歴史、民俗などさまざまな分野から、特色ある文化遺産を紹介し、未来へ伝えていきます。



『館林市史』特別編、資料編

近世を通して江戸の北の守りとして重要な役割を果たした館林城。その城主となった榊原康政や徳川綱吉をはじめとする有力大名七家、それぞれの藩政への取り組みは・・・家臣たちの仕事と暮らしそして武士としてのたしなみは・・・お国替え道中での不安と楽しみは・・・歴史上の出来事が身近なものとなる一冊です。

【第一部】近世館林の大名

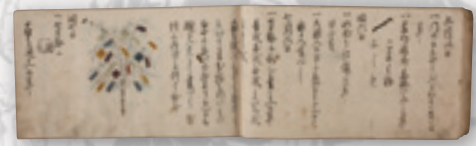
◆天正十八年（一五九〇）に榊原康政が藩主となって以降、江戸幕府の重要拠点として徳川家をはじめ七家の大名が館林を治めてきました。館林と縁のある大名家の歴史や系譜を解説します。

- 1 近世館林と大名家の歴史
 - 榊原家／大給松平家／徳川家（綱吉）／越智松平家／太田家／井上家／秋元家
- 2 藩主の系譜と動静
 - 榊原家／大給松平家／徳川家（綱吉）／越智松平家／太田家／井上家／秋元家／「徳川実紀」にみる館林

【第二部】館林の藩政記録

◆近世館林藩での各大名の政治や在任中のできごと、そして武士の生活の様子と年中行事やしきたりなど、当時の社会を多くの歴史資料から解き明かします。

- 第一章 歴代の藩主たち
 - 榊原家／大給松平家／徳川家／越智松平家／太田家／井上家／秋元家／旗本諸家
 - 第二章 家臣団と職制
 - 榊原家／大給松平家／徳川家／越智松平家／太田家／井上家／秋元家
 - 第三章 館林城の変遷
 - 築城と修理／城と武家町の管理／明治維新後の館林城
 - 第四章 藩政と藩財政
 - 家中の統制／町村の支配／飛地の支配／藩の財政
 - 第五章 武士の暮らし
 - 年中行事／藩士の勤め／藩校と文武修行／武士のたしなみ
 - 第六章 明治維新と館林藩
 - 維新前夜の館林藩／戊辰戦争と館林藩／「館林藩」から廃藩置県へ
- 〈別冊付録〉『お国替絵巻からみた家臣の道中記―山形から館林まで―』



▲山田家年行事（山田孝充家文書）



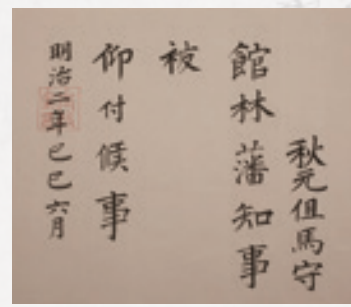
甲府支族松平家記録
（京都大学法学部図書室蔵）▶



▲松平斉厚褒詞状（飯島家文書）



▲江戸在番中日記（田山花袋記念文学館蔵）



▲館林藩知事任命状（館林市立資料館蔵）

下地写真：山田音羽子画 『お国替絵巻』（西大手に至る所）
：館林城普請・堀浚願絵図